正副委員長を選出、今年度事業も承認

健康総合対策事業委員会

健康総合対策委員会は、６月２日、府国保連合会で開催された。府国保連合会の森事務局長が開会挨拶をし、今年度から施行された後期高齢者医療の周知徹底や、注目度が高い特定健診の不備等の改善にこれからも努めていきたいと述べた。

続いて、委員改選に伴い、委員の互選により委員長に福知山市市民人権部次長兼保険課長荒木一昌氏、副委員長に伊根町住民生活課長芦原誠氏に決定した。任期は平成２０年４月１日より平成２２年３月３１日まで。

府国保連合会から、平成１９年度国保連合会保健事業の報告について、平成２０年度国保連合会保健事業の計画について、それぞれ説明をした。協議では「府内被保険者の腎透の実態調査の結果、保険者としてできることは何か。」という質疑が出され、保健師等で生活状況を分析して保健指導を強化していく必要があるとした。